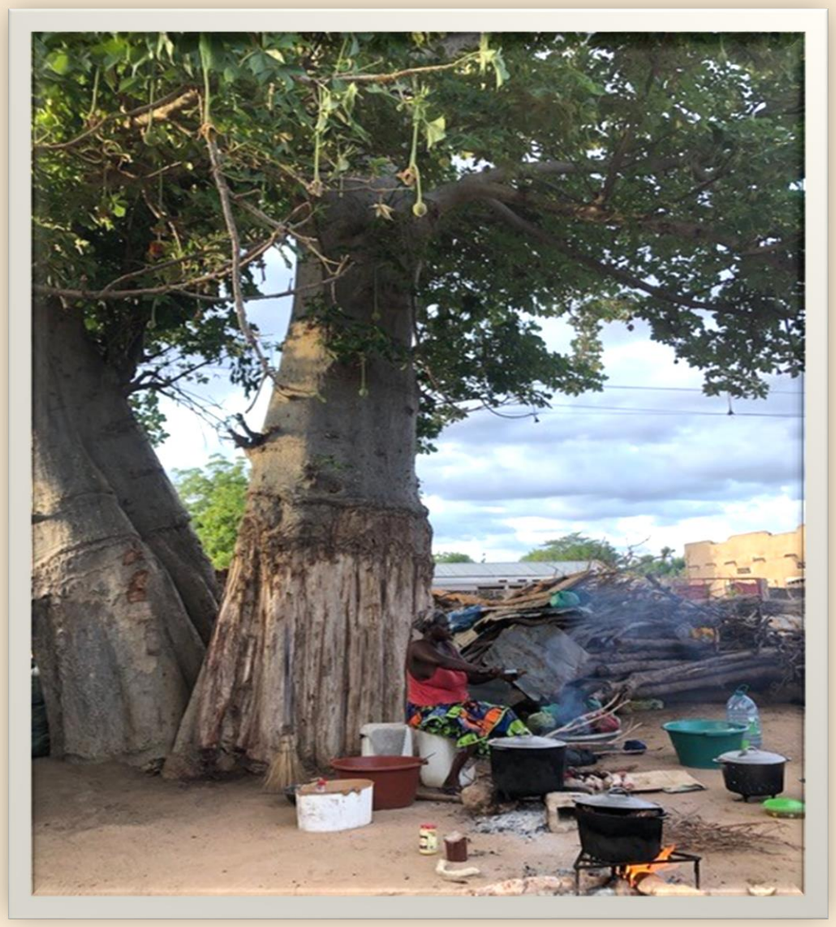
松尾　祐希　セネガル

（助産師・2018年度3次隊・東京都墨田区）



［私の任地］

1. 任地の名前：
　　カフリン県
2. 任地の人口：
　　467,000人
3. 首都からのｱｸｾｽ：
　　7人乗り乗合タクシーで
　　6～7時間ほど。
4. 庶民の足：
　　ロバ車、馬車
　　バイクタクシー
5. 物価：
　　屋台の朝食100円くらい

［セネガル共和国］

セネガル共和国の概要

1. 面　　積：197.16平方キロメートル（日本の約半分）
2. 人　　口：1513 万人
3. 首　　都：ダカール
4. 民　　族：ウォルフ族、セレール族、プル族、バンバラー族
5. 言　　語：フランス語が公用語、ウォルフ語
6. 宗　　教：イスラム教徒
7. 通　　貨：fCFA（フランセーファー）
8. 主要産業：農業（落花生、トウモロコシ）
9. GDP　　:137億米ドル

［活動内容］

　カフリン州は、セネガルの中でも保健衛生に関しての状況が厳しい州の一つであり、母子保健に関する様々な取り組みが必要とされています。特に「妊婦健診未受診」「自宅出産」「予防接種受診率」「栄養失調児」など。そのため、村に出向き彼らの生活をモニタリングして原因を探ったり、未受診妊婦や高血圧などの気になる村人に来院を促したり、栄養失調児のスクリーニングや、街中での保健指導、学校での衛生教育の授業、村の保健員に手伝ってもらい様々な啓発活動を企画しました。

【赤ちゃん訪問・産後訪問の風景】
　ハイリスクで出産した方の家を訪問し、お母さんと赤ちゃんの診察を行っている様子。生後7日目に赤ちゃんの誕生祭が行われるので、その日を狙って訪問するとたくさんの人が集まっているので、ついでに栄養失調児のスクリーニングや子育て相談所のような事をしていました。

［お気に入りのグルメ（食）］

「バハルサルム」

　　村の方でよくご馳走になったご飯。ピーナツバターや魚介パウダー、玉ねぎを油とお米を炊いた料理。スパイシーで美味しく、現地の方は好んでよく食していますが、栄養価は…

【村での啓発活動の風景】

　村の保健員に手伝ってもらい、様々な啓発活動を行いました。